

年頭所感

全日本私立幼稚園連合会 会長 田中雅道



明けましておめでとうございます。本年も皆様方にとりまして良き年となりますことを祈っております。新春は大きな事件もなく、穏やかに時が流れました。この穏やかな流れが新春だけでなく、一年を通しての流れになることを祈っております。

さて、幼児教育を取り巻く環境は、ここ数年で大きな変化を迎えました。幼児教育施設の多様化が進み、それぞれの地域に合った運営形態が選択できるようになってきました。国で認定こども園の話が出始めた頃、認定こども園への一元化を目指し、行政サイドが進んでいくことを前提として議論を詰めてきたのですが、私自身、今は幼稚園・認定こども園・保育所という多様な運営形態があることはいいことだと考えています。ただ、運営形態によって、公費の投入状況が異なるということは大きな問題です。公定価格という、幼児教育に投入すべき最低ラインを国が示すことは意義のあることですが、このラインで運営しなければならないという指標でなく、より良い幼児教育を目指して、質の向上が図れるような仕組み作りが必要だと感じています。私立幼稚園由来の認定こども園は、その園が目指す理想の幼児教育を実現するために、独自の保護者負担を求めていることが許されています。良質な幼児教育を提供し、それを担う保育者の待遇はどうあるべきかを、私立幼稚園由来の認定こども園が追及していく姿勢をなくさないよう努力していただくことが重要だと考えています。これは、私学助成園にとっても同じ課題です。幼児教育の無償化が実現し、公的資金が多く投入されてきています。保護者負担が軽減されてきたとはいえ、それは幼児教育を担う保育者が十分な収入を確保できていない状況下での実現であり、従来の公立幼稚園への税金の投入額に比べれば、比較

にならない低い水準で日本の幼児教育は運営されているのです。

昨年、幼児教育施設での虐待保育など様々な問題が浮上してきました。個人的な資質の問題もあるのですが、本質的な問題は、低い配置基準で長時間保育を担わされている現場の悲鳴だと考えるべきではないでしょうか。保育の現場は、豊かな環境の下で行われなければ子どもの幸せは実現できません。もう少し、ゆとりをもって保育に携わることができるよう、保育現場における人的環境の改善が望まれます。

国民が、日本のどこへ行っても同じ教育が受けられるという公立主導の時代から、この地方のこの施設の教育を受けたいという思いで、住む場所を決めるような時代になることを願っています。均質な教育を提供するのではなく、教育の質を競い、個性豊かな環境の下、個性豊かな人的資源が輩出される幼児教育の現場になりたいものです。私学の本質は、ここにあるのだと思っています。本年もそれぞれの現場において、その地域にとって、より良い幼児教育を提供するべく努力されることを祈っています。

全日本私立幼稚園連合会・全日本私立幼稚園 PTA 連合会からの報告 ～事件経過報告③～

この度の会計不祥事について、田中雅道・全日私幼連合会長から加盟園ならびに関係者各位へ、現況を報告させていただきます。なお、本件に関しましては、今後も経過報告を行っていく予定でございます。

全日本私立幼稚園連合会
加盟園 各位
全日本私立幼稚園 PTA 連合会
関係者 各位

全日本私立幼稚園連
会長 田中 雅道

令和4年7月13日、香川前会長、勝倉前事務局長が通帳の偽造罪と業務上横領罪で逮捕・起訴された時、報道を聞かれた多くの方は、その金額の少なさに疑問を持たれたと思います。本連合会が告訴していた金額は約6億円を超える金額でしたが、業務上横領罪で逮捕・起訴された金額は、百万円単位の金額でした。その後、勝倉前事務局長に関しては、5回追起訴がなされているため、このような事件の捜査手法として、証拠が固まった段階から順次逮捕・起訴していくのではないかと、現在は推測しています。警視庁の方からは、勝倉前事務局長に関しては、どれくらい追起訴が続くのか見通しは立っていないという旨、報告を受けています。

その後、香川前会長に関して、業務上横領罪については起訴されず、通帳の偽造罪のみ起訴され、裁判となりました。この刑事裁判につきましては、令和4年12月20日に判決が出され、香川前会長に懲役1年6ヶ月、執行猶予3年の判決が出され、香川前会長が控訴しなかったため、令和5年1月5日に刑が確定しました。報道されてきた銀座での飲食代、某宿泊施設でのマッサージ代などは、本連合会の資金が使われたことは事実ですが、横領という罪に問えるかということに関しては、刑事事件としては、起訴しないという司法の判断が確定することになります。

香川前会長の銀座での飲食代、某宿泊施設での飲食やマッサージなどの個人的な支出が業務上横領罪に問われなかったとはいえ、本連合会の会費が使われたことは事実です。前会長の私的な行動への支出を、組織の資金で支払うよう指示を受けた勝倉前事務局長が、前会長の指示を受けたと言いますれば、

自分の私的行動に対する費用の支払いも許されると勝手に解釈し、行動したのが今回の事件のきっかけだと私は思っています。勝倉前事務局長の欲望は、際限なく肥大化し、組織のほとんどの資金に手を付けることとなってしまったのです。コロナの影響が微妙に影響しているとはいえ、どこかで事件を食い止めることができなかったのかという検証は必要だと考えています。ただ、そういった検証にかかる費用が新たに発生する一方、検証を行うことによって回収できる金額が増えることは望めません。組織としての費用対効果を考え、その中で最大限必要な検証を行っていくべきだと考えています。

なお、組織の再生に向けて、本連合会の会計の透明化は格段に進歩を遂げています。今では、会計の現状を複数の担当者がいつでも見られる状態になっています。

全日本私立幼稚園連合会と（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の組織改革も同時に行っているかなければなりません。その中で、令和4年11月に配信された（一財）全日私幼研究機構の各地区の研修会や各県の研修会の研修に、多くの教員が受講料を払って研修を受けてくれたことが機構の大きな実績になっています。それぞれの園の教員が、いい研修を受けて自分の保育の質を高めようと努力してくれている姿は、これからの本連合会の行くべき道を示してくれました。今一度本連合会の足元を見つめ直し、これからの日本の子どもたちのために、子どもたちの教育を支える教職員のために、着実に歩んでいきたいと思っています。

監事監査・委員会の上半期活動などを報告

令和4年12月16日、東京・アルカディア市ヶ谷にて団体長会理事会・合同会議が開催され、64名が出席しました。

はじめに、松岡明範副会長から開会のことばがあり、引き続き、田中雅道会長からあいさつがありました。また、渡辺力氏（長崎）から10月24日、25日に行われた設置者・園長全国研修大会を終えてのあいさつがありました。

その後議題に入り、議長に近藤宏氏（北海道）、宮崎史郷氏（福岡）が選出され、議事録署名人に西谷正文氏（島根）、高尾恵子氏（佐賀）が選出されました。

■報告案件（1）令和4年度上半期決算・監査報告の件

令和4年度上半期決算について、石橋税理士から決算書作成における説明があり、その後、福井徹人総務委員長から詳細の説明がありました。監査報告書については、内野光裕副会長から説明があり、大久保監事並びに川畠教孝監事から決算・監査報告がありました。

■報告案件（2）令和3年度地区活動費の件

令和3年度地区活動費について、福井徹人総務委員長から説明がありました。今後の対応について議論がなされ、全ての都道府県私幼団体からの会費納入後、速やかに地区活動費を執行することを確認しました。

■報告案件（3）委員会報告の件

各委員会委員長から上半期の活動報告ならびに下半期の目標・課題の報告がありました。

また、総務委員会にて、東京海上日動火災保険株式会社を通じ、JK保険並びに園児24保険における当年度の報告と来年度の提案がなされました。加えて、内野光裕副会長から来年度以降の保険制度のキャッシュレス化及びデジタル化に伴う今後の対応について、説明がありました。



■報告案件（4）（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構からの報告

全日私幼研究機構・安家周一理事長並びに加藤篤彦専務理事から、免許状更新講習以降のオンデマンド研修への取り組みと現状報告について説明がありました。

■その他

内野光裕副会長から、国土交通省の送迎バス安全対策ワーキンググループの出席報告がありました。

最後に山西幸子副会長から、閉会の言葉が述べられ、終了しました。

こどもがまんなか ～良質な幼児教育をすべての子どもに～

12月9日、東京・アルカディア市ヶ谷において、全日本私立幼稚園PTA連合会第36回PTA全国大会が開催されました。

「こどもがまんなか～良質な幼児教育をすべての子どもに～」を大会テーマに、全国各地から保護者代表、幼稚園関係者など約300名が参加しました。

本大会では、永岡桂子文部科学大臣、中曽根弘文自由民主党幼児教育議員連盟会長、山谷えり子自由民主党幼児教育議員連盟副会長、橋本聖子自由民主党幼児教育議員連盟副会長、丹羽秀樹自由民主党幼児教育議員連盟事務局長、柳孝文部科学事務次官、藤原章夫文部科学省初等中等教育局長、里見朋香文部科学省総合教育政策局審議官、安彦広斉文部科学省初等中等教育局審議官、藤岡謙一文部科学省初等中等教育局幼児教育課長、黄地吉隆文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長が臨席され、全日私幼P連からは河村建夫顧問、月本喜久会長、山本順三参議院議員(全日私幼P連副会長)、大越誠之副会長、敷樋昌子副会長、山本英之副会長、全日私幼連からは田中雅道会長が出席し、盛大に開催されました。

第1部の大会式典は、山本順三参議院議員(全日私幼P連副会長)から開会のことばが述べられました。続いて、河村建夫全日私幼P連顧問なら



びに月本喜久全日私幼P連会長からあいさつがありました。

来賓祝辞では、永岡桂子文部科学大臣、中曽根弘文自由民主党幼児教育議員連盟会長、山谷えり子自由民主党幼児教育議員連盟副会長、橋本聖子自由民主党幼児教育議員連盟副会長、丹羽秀樹自由民主党幼児教育議員連盟事務局長からご祝辞をいただきました。

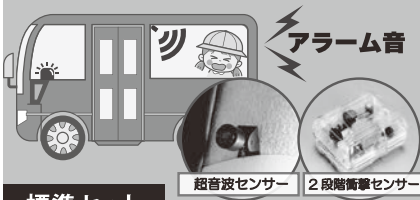
来賓紹介では、太田房江自由民主党参議院議員、塚田一郎自由民主党衆議院議員、柳孝文部科学事務次官、藤原章夫文部科学省初等中等教育局長、里見朋香文部科学省総合教育政策局審議官、安彦広斉文部科学省初等中等教育局審議官、藤岡謙一文部科学

ホーネット 車内置き去り防止システム

カーセキュリティ機能付き車内置き去り防止システム

- エンジン停止後にブザーが鳴ります。
- 見回りながら後部に設置したリモコンボタンを押してブザーを止めます。

車内センサーが人の動きや振動を検知してアラームでお知らせ!



標準セット

超音波センサー

2段階衝撃センサー

車両の位置情報や移動履歴などスマホやPCで管理できます。



緊急通報

運用管理画面

アナログによる
ヒューマンエラー
防止

デジタルによる
見守り

株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11
ホームページ: <https://www.child.co.jp/>



永岡桂子氏
文部科学大臣



中曽根弘文氏
自由民主党幼児教育
議員連盟会長



山谷えり子氏
自由民主党幼児教育
議員連盟副会長



橋本聖子氏
自由民主党幼児教育
議員連盟副会長



丹羽秀樹氏
自由民主党幼児教育
議員連盟事務局長



河村建夫氏
全日私幼 P 連顧問



月本喜久氏
全日私幼 P 連会長



山本順三氏
参議院議員
全日私幼 P 連副会長

省初等中等教育局幼児教育課長、黄地吉隆文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長の紹介が行われました。

続いて、敷樋昌子全日私幼 P 連副会長から今大会の大会宣言が読み上げられ、満場一致で採択されました。

最後に、大越誠之全日私幼 P 連副会長より閉会のことばが述べられ、第 1 部が終了しました。

第 2 部では、記念講演の講師として大方美香氏(大阪総合保育大学・大学院/学長)をお招きし、「子育てあ・い・う・え・お」をテーマに、ご講演いただきました。続いて、全日本私立幼稚園連合会ならびに全日本私立幼稚園 PTA 連合会からの報告として、田中雅道会長から団体報告があり、盛会のうちに会を終了しました。

宣言

私たちは、次代を担う子どもたちの心豊かな人間としての成長や幸福を願い、常に子どもがまんなかの視点から、家庭教育の向上、すべての子どもが良質な幼児教育を受けることができる社会を目指して、子どもたちがはじめて出会う学校である私立幼稚園・認定こども園とともに努力することを宣言します。

- 一、私たちは、子どもたちの教育の原点が家庭にあることを再認識し、家庭が子どもにとって最も安心でき、共に学びあえる場になるよう努めます。
- 一、私たちは、心豊かな子どもを育むために、私立幼稚園・認定こども園の良質な幼児教育を通して、子どもとともに「生きる力」を学びあい、積極的に自己研鑽に努めます。
- 一、私たちは、地域の人々との絆を深め、心をつなげて、自然災害や事故、環境汚染等から子どもたちの生命を守り、安心して子育てすることのできる地域社会づくりの支援に努めます。
- 一、私たちは、社会や子どもにとって本当に必要な子育て支援の政策が実現されるよう全国の保護者とともに努めます。
- 一、私たちは、幼児教育の無償化に伴い私立幼稚園・認定こども園とともに幼児教育のさらなる質の向上に努めます。

令和 4 年 12 月 9 日
第 36 回全日本私立幼稚園 PTA 連合会全国大会

●第2部 記念講演「子育てあ・い・う・え・お」



▲大方美香氏 大阪総合保育大学 大学院 学長



●第2部 全日本私立幼稚園連合会・全日本私立幼稚園 PTA 連合会からの報告



▲田中雅道氏 全日本私立幼稚園連合会会長



人材育成・人材確保の悩みに解決のヒントをご提案します

園のリーダーのために 保育ナビ

予測困難な時代に対応した保育・園運営に役立つ、「国の動き」「人材育成」「園経営」「保育内容」「子どもの姿ベースの指導計画」「乳児保育」「小学校との接続」など必須の情報をお届けします。

B5判 80ページ 定価 1,100円 (本体 1,000円+税 10%)

「子ども主体の保育」
「小学校との接続」など、
注目テーマも掲載！

誌面と
連動した動画を
毎月配信！

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 子育て支援事業部まで

キンダーブックの **フレール館**

日本私立学校振興・共済事業団からのお知らせ

表紙写真・園紹介記事を募集しています



表紙写真

春季は入園式、遠足、夏季はプール開き、お祭りなど、四季折々の季節感ある学園風景の写真を募集しています。

連載「魅力あふれる学校づくりを目指して」

幼稚園での施設整備に関すること、園児の体力づくりや情操を育む日々の取り組みなど、さまざまな事例を紹介してみませんか。

過去の掲載

【表紙】

◆令和4年7月号(VOL.295)／わかば学園

【表紙及び記事】

◆令和4年10月号(VOL.298)／聖尚学園

「魅力あふれる学校づくりを目指して」

天使の森ではじめの一歩

〒102-8145 東京都千代田区富士見 1-10-12

企画室 ☎ 03 (3230) 7809~7811 ✉ kikaku@shigaku.go.jp

「しーちゃんと学君のちょっと学校訪問」

園の伝統行事や音楽・スポーツ活動、地域活動への参加など、「レター」で紹介してみませんか。

特色のある園づくりの様子や、園児が生き生きと学んでいる様子を事業団職員が取材にお伺いします。

過去の掲載

◆令和元年7月号(VOL.128)

ことばと心を声のにせて(京都女子大学附属小学校)

◆平成31年1月号(VOL.125)

感動したぶんだけ、大きくなる 森のものがたり(森のこども園)

◆平成30年3月号(VOL.120)

地域密着！客車劇場(富士見幼稚園)



過去に掲載した記事は私学共済ホームページ〔私学共済事業のご案内▶刊行物▶加入者向けの刊行物▶加入者向広報「共済だより レター」〕にも掲載しています(右記コードからアクセスできます)。



〒113-8441 東京都文京区湯島 1-7-5

<https://www.pmac.shigaku.go.jp/>

広報相談センター 広報班 ☎ 03 (3813) 5321 (代表)



～年間連載 教育・保育の未来について考える③～

令和4年12月号より、西九州大学短期大学部幼児保育学科教授の牛丸和人氏による年間連載を開始いたします。発達段階に応じた造形（表現）教育等を専門分野とし、教育者でありながら画家としても活躍されている牛丸先生の連載より、幼児教育への理解を深める機会にさせていただきますと幸いです。

しつけ（躾）と虐待

西九州大学短期大学部
幼児保育学科教授 牛丸 和人

I 園内虐待に関する報道

昨年末に静岡県での保育所での虐待が大きく報道されました。勿論、虐待は許されるものではありませんし、子どもたちや保護者の皆様の心中は察して余りあります。ただ、感情的に保育士を攻撃するネットへの書き込みにも強い憤りを感じました。恐らく保育所、幼稚園、認定こども園それぞれの現場の大変さを理解していない人間による書き込みだと思われませんが、あたかも正義の味方気取りで保育士の名前、顔写真、住所までも晒しながらの誹謗中傷は虐待と同じく許されてはならないはずで、中には被害を受けた子どものトラウマについて言及した記述もありましたが、ならば加害者としてネット上に個人情報晒された保育士の家族のトラウマに対しても思いを寄せて欲しいと思いました。家庭内虐待も、園内虐待も、学校における体罰も感情論だけで語るのではなく、なぜ起きてしまうのかについて分析し、

効果的な解決策を社会体制の改善も含めて考える時期にきていると思っています。

II 繰り返される通知

これまでも厚生労働省の「子ども虐待防止の手引き」や各園の「虐待防止マニュアル」によって、繰り返し周知がなされてきたにも関わらず、なぜ園内虐待事件が起きてしまったのかということに注目しなければなりません。令和4年9月2日に「児童虐待防止対策の更なる推進」について閣僚会議決定がなされました。ご存知の園長先生方も多いと思います。加えて、令和5年4月から創設される「こども家庭庁」が司令塔となり、関係省庁が連携しながら児童虐待防止対策への取組強化を図っていくようです。これまで虐待の現場は家庭であるというイメージが強かったと思うのですが、多角的に虐待を防止する施策が練られていくものと思われます。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とカリキュラム

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

Ⅲ しつけと虐待・体罰

かつて私は、小学校、中学校、高等学校の校長を経験してきました。どの学校種においても校内におけるいじめや体罰への対応が、大きな課題であったことを思い出します。学校教育法第11条には次のように示されています。【校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない】文部科学省は児童生徒の懲戒・体罰等に関する参考事例も提示しています。ご存知とは思いますが、体罰と見なされる行為を行った教員に対しては、その内容によって、教育基本法の定めるところにより懲戒処分が下されます。被害届が出されれば逮捕というケースもあります。よろしければ、是非一度、学校現場における体罰関係の法令にも目を通していただければと思います。

何を申し上げたいのかというと、個人差はあるものの、小・中・高校生であっても言葉による説諭が通じない子どもたちがいるということなのです。それが体罰につながるケースも少なくありません。近年、学校現場では「特別な支援を要する児童・生徒」と判断した場合、保護者の同意のもとに特別支援学級での少人数による指導・支援がなされています。

では、保育所・幼稚園・こども園はどうでしょうか。ほとんどの園には特別支援学級はありません。言葉がうまく通じない年齢の子どもたちであること

に加え、学習障害（含傾向）や発達障害（含傾向）の子どもたちも混在しています。そのような集団の中で日々保育、教育、そしてしつけが展開されているのです。家庭においても、園や学校においても社会性を身に着けさせるためのしつけは絶対に必要です。しかしながら、我が国が定める保育士の配置基準では、1人の保育士・教諭が0歳児では3人、1・2歳児では6人、3歳児では20人、4・5歳児では30人の子どもたちの保育・教育・しつけにあたっている現状で、これは0歳児以外では50年間見直されていません。この現状は果たして適切な配置基準なのでしょうか。疑問を感じざるを得ません。

Ⅳ 注目したい首相の発言

岸田文雄首相は【医療・看護師・介護職員・幼稚園教諭・保育士、こうした方々など、社会の基盤を支える現場で働く方々の所得向上に向け、公的価格のあり方の抜本的見直しを行う】と発表しました。保育士の人件費は、配置基準に基づき算出されますが、実際に多くの園は、基準の1.5～2倍ほどの保育士等を配置しており、追加支給で足りない分は、経費削減や給与引き下げで対応せざるを得ないのが実情ではないでしょうか。保育士の賃金アップは望ましいことですが、給与の改善だけではなく「配置基準の見直し」も行われるべきでしょう。子どもと保護者、保育士を守るために、園長先生方も様々な方法で現場の声を国に届けていただきたいと願っています。



チャイルドブックの月刊保育雑誌

2022年度の「Pot」は
大特集 & プチ特集の
W特集で
保育力アップ!

さらに「Pot 指導計画」は
毎月付録になりました。
指導計画はポットにおまかせ!

定価1,100円(本体1,000円+税10%)
www.childbook.co.jp/pot/

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
www.childbook.co.jp/pot/

ご注文は、貴国担当のチャイルドブック販売店
または書店まで。

チャイルド本社

「愛知県政 150 周年」～県政とともに歩む～

公益社団法人愛知県私立幼稚園連盟

感謝状をいただきました

明治5年に当時の愛知県と額田県が合併し、現在の愛知県が誕生してから昨年11月27日で150周年を迎え、この日を中心に愛知県内では様々な記念行事が行われました。

11月27日には、愛知芸術文化センターにおいて県政150周年記念式典が開催され、愛知の地域づくりに貢献した多くの団体と共に愛知県私立幼稚園連盟にも感謝状が贈呈されました。

園児が協賛参加しました

愛・地球博記念公園では、愛知県政150周年連携イベントとして、毎週末に県内市町村が地元の観光紹介や飲食物・特産品の販売、イベントの開催などを行う「あいち市町村フェア」が開催されました。

11月26日の「あいち市町村フェア」では、北名古屋市の栄和幼稚園（園長 松本正子先生）のマーチングバンドが協賛出演しました。会場の体育館では多くの観客が見守る中、指揮者を先頭に太鼓やキーボード、カラーガード（旗）を駆使して何種類もの隊形移動をこなしながら、「ミッキーマウスマーチ」や「オペラ座の怪人」などのメロディーを演奏するという大人顔負けの演技が繰り広げられ、会場は温かい拍手に包まれていました。来賓としてお越しいただいた大村秀章愛知県知事と自由民主党愛知県議員

団私学振興議員連盟の水野富夫会長からの激励のメッセージも、園児たちにとってよい思い出となったことと思います。



記念事業で盛り上がりました

体育館の外では餅つき大会も行われ、2,000食が振舞われました。参加した子どもたちは餅つき体験や、つきたてのお餅を食べる中で、大変満足そうな笑顔を見せてくれました。



また、この日は、記念事業の一つとして、航空自衛隊のブルーインパルスが県内6か所を巡る展示飛行も行われました。

愛・地球博記念公園上空には午後1時半頃に訪れて会場を盛り上げてくれました。雲が広がってはいましたが、スモークで描かれた5本のラインが真っすぐ鮮やかに見られました。飛行機の迫力ある音に、歓声が混じっていました。大きなカメラを抱えた人たちは勿論、多くの人がスマホでもしっかりと記録していた様子です。

大空を駆け巡るブルーインパルスは、コロナと共にありながら大きく躍動する今後を示唆しているように感じました。

話題のジブリパークが開園しました

県政150周年に合わせて、愛・地球博記念公園内に11月1日に開園したジブリパークは、スタジオジブリの世界観を表現した公園施設で、5つのエリアに分かれ、開業中の「青春の丘」「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」の他、2つのエリアが今年開業の予定です。一般入場チケットは日時指定の先着順販売となっていますが、一般の入場定員とは別に学校行事で利用可能な「子ども枠」（抽選）も設けられています。



子どもも大人もワクワクする場所として、全国の方に楽しんでいただけたらうれしいです。愛知にお越しの際は、是非ジブリの世界をお楽しみください。

子どもも大人も楽しめる物語の世界が、もっと発展し文化の豊かな社会になるよう期待しています。

究極のSDGsは 毎日の遊びにあり

福島県私立幼稚園・認定こども園連合会の今年の教員研修大会は「新しい時代をのびやかに生きる～社会に開かれた質の高い幼児教育を～」がテーマでした。SDGsの取り組みや質の高い教育のために、子どもの主体性について悩む日々ですが、ふと日常の保育を振り返ると、毎日しっかり取り組みを続けていることに気づいたので、ご紹介させていただきます。

本園では、家庭で不要になった箱や牛乳パック、お菓子の空き箱、トイレットペーパーやペットボトルなど様々なものを回収し遊びに利用しています。始めは、新聞紙を丸めた剣を作ることがやっとなの子が、秋には牛乳パックにペットボトルのふたをつけて車を作り、一年後にはその車の車輪が回るように工夫をしていました。その後は、一人一つの作品作りではなく、クラスで協力して街作りやお店屋さんをするなど、とてもダイナミックな遊びに発展しています。遊戯室に行くと、ダンボール箱を使った、積み上げ迷路やお化け屋敷が出来ていることもあります。そこには、みんなの工夫や協力がつまっています。

「家で不要になったもの」が工夫されて、時には、可愛らしいお人形の家やおもちゃになって甦るのです。お金を出せばおもちゃを買える時代ですが、子どもたちには、おもちゃはもちろん、ものを大切にするとともに、家では不要となった材料を使って、ものを作る喜びを味わい、友達と協力し、知恵を出し合いながら、ごっこ遊びなどの体験をしたりすることこそ素晴らしい学びであり、ここに主体性が存在します。

今年度ICT補助金をいただき、ドキュメンテーションという手法を使って確認し、振り返りながら保護者とともに楽しんでいます。

((公社)福島県私立幼稚園・認定こども園連合会理事、会津若松市・認定こども園若松第二幼稚園／上嶋啓子)

長時間保育ニーズへの対応

幼児教育無償化や女性活躍推進法改正などで3歳未満児の長時間保育ニーズが高まる反面、3歳からの入園児は県全体として減少傾向にあります。待機児童問題に悩む時代から一転して少子化に切り替わり、減少傾向は加速度的に進んでいます。もはや預かり保育を行うだけでは、長時間保育という社会的ニーズを果たすのが難しいと感じます。

岡山県私立幼稚園連盟の新制度25園、私学助成10園は、それぞれの制度内で、社会的ニーズに応えられるよう、2号・3号児の受け入れ枠を大きくするなど、対策を検討することが急務です。また、岡山県は公立園が大変多い地域なので、公立園が定員を調整したり、セーフティネットの役割を打ち出したりするなどして、私立園の経営を圧迫しないように工夫してもらうことも重要な課題です。そうして社会的ニーズを果たしたうえで、各園の特色ある教育により、子どもたち一人一人を丁寧に育むという使命を果たし続けたいと願っています。

また、動画配信による公開保育について、長時間保育・働き方改革の実践により、全員参加での研修は困難となっています。特に、公開保育は、人数制限により、一部の先生しか参加できない状況にあります。そこで、昨年度から、複数のカメラマンによる保育の動画撮影を行い、それを編集・配信することで、理論上、加盟園の全教員が他園の保育を観て学ぶことができるようになりました。この方法は、アフターコロナでも有効な研修方法の一つとなりうるのではないかと考えています。

(岡山県私立幼稚園連盟副理事長、岡山市・第一ひかり幼稚園／永倉正嗣)

編集後記

放課後、職員室で仕事をしていると、2年目の職員が、急にその場にいる主任の良い所をみんなに話し出しました。「〇〇先生は、すごいんです！優しくて、何かあるとすぐに相談に乗ってもらっています！」と熱弁し始めました。褒められた主任が、戸惑いながらも照れくさそうにしているのを見て、職員室は笑いに包まれました。

大人同士だと照れくさくて、なかなか相手を褒めることが難しくなってしまいます。また、相手の悪い所に目が行きがちになりますが、自園では

時々、放課後に時間を取ってお互いの良い所を話し合っています。

気に食わないことがあるとネットに悪口を書き込んだり、何かあると必要以上にバッシングをしたりと窮屈な世の中になっているのではないのでしょうか。お互いを認め合える社会に、我々大人が変えていく必要があるように思います。子どもたちには、人の悪い所ではなく、良い所をたくさん見つけられる人に育って欲しいと願っています。

(広報委員・見山任昭)



遊具：HOUSE

未来は、あそびの中に。

偉大なる発明も、世界を変えた公式も、
あそびから生まれた。

あそびは、すべての創造の源です。

あそび力を伸ばすことは、未来を切り拓くこと。

創造力をのばす。共感力をはぐくむ。ルールをまなぶ。

あそびから、こどもは無限の力を羽ばたかせていく。

あそびの環境に、あざやかな驚きを。

私たちは、未来をつくる仕事です。



JAKUETS